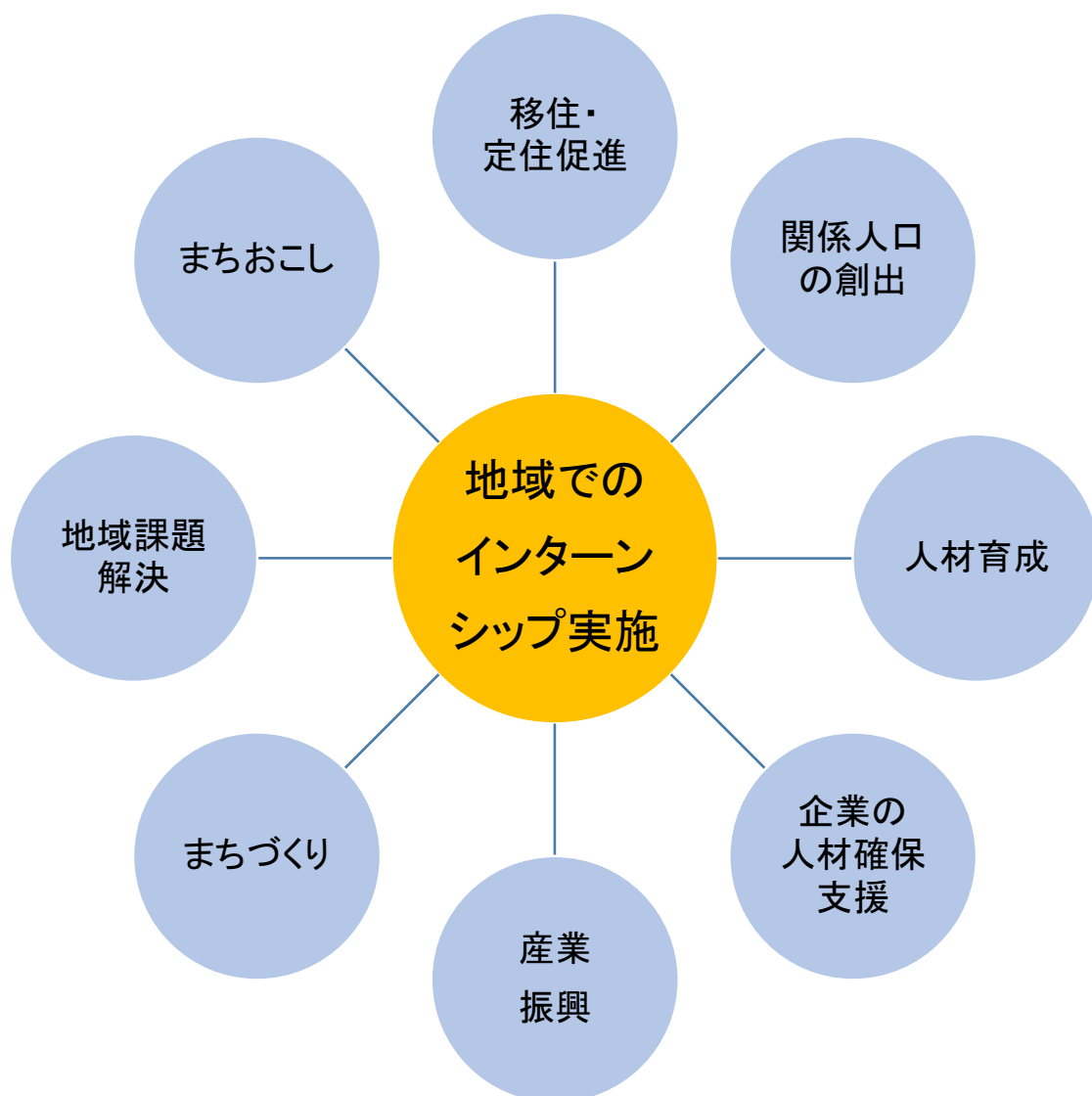


1-3. 地域でインターンシップを実施することの意義

自治体がインターンシップへ取り組む意義

- ✓ インターンシップは、人材育成の観点だけでなく、地域企業の人材確保支援、産業振興、移住・定住促進、まちづくり、関係人口創出等、自治体の幅広い施策に関連しています。
- ✓ 地域でのインターンシップを実施する意義としては、「インターンを実施すると、地域企業や地域の仕事に対する理解が深まり、地域企業への就職につながる」というUIJターン促進のイメージが強いかもしれませんが、実際には自治体がインターンシップへ関与することで、移住・定住促進に留まらず、「まちおこし」や「地域での企業支援」、「地域住民が抱える課題解決」等の場面へ学生の柔軟な発想や行動力を活用している事例もあります。先進事例では多岐の施策にわたってインターンシップを実施している例が見受けられますので、ぜひご参照ください。(→事例73ページ以降をご参照)



1-3. 地域でインターンシップを実施することの意義

インターンシップの種類

- ✓ 一般に「インターンシップ」と呼ばれているものの中には、「業務体験型」、「課題解決型」、「事業創造型」等様々なタイプがあり、短期間の「仕事理解型」もインターンシップと呼んで実施している企業も多くあります。
- ✓ 次頁以降では、「仕事理解型」も含めてそれぞれのタイプについて、詳細に説明しています。インターンシップに取り組む目的を定め、それぞれのタイプから得られる教育効果や企業、地域のメリット等をしっかりと整理した上で、インターンシップを実施することが重要です。

	①業務体験型	②課題解決型	③事業創造型	④仕事理解型
概要	学生が従業員に教わりながら、企業の通常業務を体験する。	企業や地域が抱える課題に対して、学生自らが調査や提案を行い、課題を解決する。	学生が企業の新規事業や社内変革プロジェクトに参画し、事業創造の取組を体験する。	インターンシップの実施を通じて、学生の地域企業・業界に対する理解を促進する。

学生が一定期間、地域に滞在して活動するインターンシップは、企業の魅力のみならず、地域で暮らすことの魅力についても理解を深めることができる。

**インターンシップを通じて、
地域での働き方や暮らし方を考えるきっかけを提供**

課題解決型インターンシップや事業創造型インターンシップでは、学生が取り組む活動そのものが地域や企業に役立つ可能性がある。

学生の活動が地域や企業の課題解決や変革に貢献

**インターンシップの実施が
人材還流や地域活性化等につながり、
地方創生の推進に役立つ可能性！**

1-3. 地域でインターンシップを実施することの意義

① 業務体験型インターンシップの特徴

インターンシップを通じて目指すこと		学生が従業員に教わりながら、企業の通常業務を体験する。
目安となる期間		5日間～2週間程度
業務体験型 インターン シップがもた らすもの	自治体	地域に滞在しながらインターンシップを行うことで、仕事や企業のみならず、地域での生活イメージについても具体的に認識してもらうことができる。
	大学	学生が実際に業務を体験することで、就職時のミスマッチを防ぐことができ、卒業生の離職率低下につながる。
	受入企業	従業員と学生と一緒に業務へ取り組むことにより、短時間の企業説明会では伝えきれない企業の概要や魅力を、時間をかけて学生へ伝えることができる。 学生への指導は若手社員の成長機会につながる。 自社のサービスや商品等に対して学生が持つイメージを把握することができる。
	学生	実際に業務を体験することで、就業後の具体的なイメージを持つことができる。 受入企業の従業員と一緒に業務を行うことで、コミュニケーション能力等社会人にとって必要な社会人基礎力を身につけることができる。 「地域の企業の中で働く」という大学ではできない体験をすることで、卒業後の働き方や暮らし方に対する気づきを得ることができる。

業務体験型インターンシップの事例は74ページへ

1-3. 地域でインターンシップを実施することの意義

② 課題解決型インターンシップの特徴

インターンシップを通じて目指すこと		企業や地域が抱える課題に対して、学生自らが調査や提案を行い、課題を解決する。
目安となる期間		2週間～1ヶ月程度
課題解決型 インターン シップがもたらすもの	自治体	<p>学生が地域に滞在しながらインターンシップを行うことで、仕事や企業のみならず、地域での生活についても具体的にイメージしてもらうことができる。</p> <p>インターンシップを通じて学生が取り組む活動そのものが地域や地域企業に役立つ可能性がある。</p> <p>地域で充実したインターンシップを体験した学生は、地域のファン(関係人口)になる。</p>
	大学	<p>学生が実際に企業内で活動することで、就職時のミスマッチを防ぐことができ、卒業生の離職率低下につながる。</p> <p>学生が課題解決に向けて考える力や行動力を身につけ、大学での学修にも寄与する。</p> <p>地域や企業が抱える課題に対して、大学での学びを実際に活かす機会となる。</p> <p>キャリア教育や地域企業との交流に力を入れて取り組んでいる大学として、学生や受験生、親世代へアピールできる。</p>
	受入企業	<p>学生ならではの柔軟なアイデアや発想、行動力を活かすことで、企業課題の解決に向けたヒントが得られる可能性がある。</p> <p>意欲的な学生が長期間、社内で活動することにより、従業員のモチベーション向上にもつながりうる。</p> <p>社員と学生と一緒にプロジェクトへ取り組むことにより、短時間の企業説明会では伝えきれない企業の概要や魅力を、時間をかけて学生へ伝えることができる。</p>
	学生	<p>取組を通じて、コミュニケーション能力や課題解決に向けた思考プロセス、行動力等を身につけることができる。</p> <p>「地域の企業の中で働く」という大学ではできない体験をすることで、卒業後の働き方や暮らし方に対する気づきを得ることができる。</p>

課題解決型インターンシップの事例は76ページへ

1-3. 地域でインターンシップを実施することの意義

③ 事業創造型インターンシップの特徴

インターンシップを通じて目指すこと		学生が企業の新規事業や社内変革プロジェクトに参画し、事業創造の取組を体験する。
目安となる期間		2週間～半年程度
事業創造型 インターン シップがもた らすもの	自治体	地域に滞在しながらインターンシップを行うことで、仕事や企業のみならず、地域での生活についても具体的にイメージしてもらうことができる。 インターンシップを通じて学生が挑戦する事業内容そのものが地域おこしにつながり、学生発の商品等としてPRできる。地域で充実したインターンシップを体験した学生は、地域のファン(関係人口)になる。
	大学	学生が実際に企業内で活動することで、就職時のミスマッチを防ぐことができ、卒業生の離職率低下につながる。 課題解決に向けて考える力や行動力を身につけることができ、大学での学習にも寄与する。 起業家精神の醸成等特色ある教育の実現のために、教育の実践の場として、地域企業とタイアップしたインターンシップを活用することができる。 キャリア教育や地域企業との交流に力を入れて取り組んでいる大学として、学生や受験生、親世代へアピールできる。
	受入企業	経営者が挑戦したいと思っているにもかかわらず、人手不足の中で従業員を充てられないために挑戦できないでいる新規事業等について、学生とともにチャレンジすることができる。また新規事業を検討するにあたり、学生ならではのアイデア、行動力が期待できる。 従業員と学生と一緒にプロジェクトへ取り組むことにより、短時間の企業説明会では伝えきれない企業の概要や魅力を、時間をかけて学生へ伝えることができる。
	学生	起業に関するイメージ等をつけることにつながる。 新規事業立ち上げに向けた思考プロセス、行動力等を身につけることができる。 「地域の企業の中で就業体験する」という大学ではできない体験をすることで、卒業後の働き方や暮らし方に対する気づきを得ることができる。

1-3. 地域でインターンシップを実施することの意義

④ 仕事理解型インターンシップの特徴

インターンシップを通じて目指すこと	インターンシップの実施を通じて、学生の地域企業・業界に対する理解を促進する。	
目安となる期間	5日間～2週間程度 (※)業界や地場産業に対する学生の理解を深めるため、1日1社ずつ、数日間に分けて複数社で実施するケースもある。	
仕事理解型 インターン シップがもた らすもの	自治体	地域の魅力的な中小企業の存在や地場産業の特徴・強み等を学生に知ってもらうことができる。
	大学	仕事理解型インターンシップを通して、学生が多様な仕事・企業・業界について理解することができる。幅広い選択肢の中から学生がキャリアを考えるきっかけを作ることができる。
	受入企業	仕事や企業・業界の魅力について学生に知らせることができる。 合同説明会と異なり、1社1社、学生に直接自社の魅力を伝えることができる。 しばらく新卒採用を行っていない企業でも学生との接点ができ、昨今の学生の就業観・職業観を把握することができる。
	学生	1社あたりのインターンシップ実施期間が短いことから、手軽に参加でき、多様な仕事、企業、業界についての理解を深めることができる。 複数の仕事理解型インターンシップへ参加することで、様々な仕事、企業、業界の中から目指すべき社会人の姿や自らのキャリアビジョンを検討することができる。